

4名の先生方にご登壇いただきました。口腔の健康と全身の健康との関係について基礎的な知識およびさまざまな口腔ケアの実践例を踏まえながらその効果についてご紹介いただき、口腔ケア教育・多職種連携・院内システムの構築について活発な議論がなされました。

シンポジウム16では、「地域医療連携(病院から地域)に於いて薬剤師は本当に役に立っているかー役に立っているのか、多職種からは何を期待されているのかー」をテーマに、4名の先生方にご登壇いただきました。近年では住み慣れた地域で療養生活を送る体制が整い、在宅医療、在宅介護等の増加など患者を取り巻く療養環境が大きく変化している中、薬剤師に焦点をあてて、これからの薬剤師業務、役割の創出について議論していただきました。

シンポジウム17では、「生き生きと働くために～第一線で活躍するスタッフの声～」をテーマに、5名の先生方にご登壇いただきました。医療の質の向上のためにはチーム医療が重要です。様々な職種や立場から、チーム医療における立ち位置、働き方改革に向けた取組を紹介していただき、我が国の医療が抱える現状と解決に向けた方策について解説していただきました。

シンポジウム18では、「臨床指標に基づく医療の質の改善：解決すべき課題」をテーマに、5名の先生方にご登壇いただきました。医療の質を改善するためには、種々の機能指標を用いた数値化により、年次比較やベンチマークなどの解析を行う必要があるが、その指標の有効利用にあたっての問題点について、取り組みの事例を交えながら講演していただきました。

6月22日(土)閉会式終了後には、市民公開講座も開催されました。多くの家族連れにご来場いただきたいという思いから、国立大学法人東京海洋大学名誉博士・客員教授のさかなクンに講師をお願いし、「さかなクンのギョギョッとびっくりお魚の話」というテーマでお話していただきました。さかなクンが登場すると子供たちから大きな歓声があがり、満員となった会場は熱気に包まれました。さかなクンが出題するクイズに答えようと、元気いっばいに手を挙げる子供たちの姿がとても印象的でした。さかなクンが退場するときも拍手が鳴りやまず、大盛況のうちに第26回学術総会はすべてのプログラムを終了いたしました。

最後になりますが、本学術総会開催にあたり、宮崎理事長をはじめ、学会会員の諸先生方、その他多くの方々より多大なるご支援とご協力を賜りました。ここに改めて御礼を申し上げます。また、8年ぶりの福岡での開催に足をお運びいただいたすべての参加者の皆様に深謝いたします。

来年度の第27回日本医療マネジメント学会学術総会は国立病院機構仙台医療センター名誉院長の上之原 広司先生を会長として、宮城県仙台市で7月に開催されます。

仙台の地で再び皆様とお会いできますことを楽しみにすると共に同学術総会の盛会を祈念いたしております。



感謝状授与

学会賞を受賞して

東邦大学医学部社会医学講座 平田幸輝

この度は荣誉ある賞を頂戴し、身に余る光栄に存じます。受賞した拙稿「入院患者の患者参加推進活動の経験と医療への参加意識：5病院における調査票調査」



学会賞授賞式

(24巻2号収録)についてご説明致します。

本研究は、入院患者500名へのアンケート調査を通じて、「病院が行う『患者参加を推進する活動』を経験したかどうか」と、「医療への参加意識を持っているかどうか」との関連を明らかにしたものです。本研究によって、①患者が納得できる治療選択のためには、治療法の選択肢に関する十分な説明が重要、②患者が積極的に医療に参加できる状態になり、また事故の危険を感じた時「言い出せる」状態になるためには、病院側が患者の声を聞く姿勢を見せるのが有効、ということが示唆されました。

引き続き、健康に関わるあらゆる「参加」の効果を検証し、発信してゆく所存です。最後になりましたが、学会関係者の皆様、そして拙稿の執筆にあたりご支援頂いたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

学会賞を受賞して

神奈川県立こども医療センター医事・診療情報管理課

田中祥子

この度は、令和5年度学会賞に選考頂き、宮崎久義理事長を始め、選考委員、関係者の皆様に厚く御礼申